

平成26年度小松島市事務事業評価シート

■事業の位置づけ（基本事項）

整理番号				5 - 2 - 12					
事務事業名		葬斎場建設事業(設計等業務委託)				担当課係		市民生活課 環境企画・公害担当	
総合計画上の位置付け	大項目		6. 「街が輝く」				記入担当者		
	中項目		①快適に暮らせる生活基盤の整備				内線等		
	小項目		5. 生活関連施設の整備				E-mail		
事業の実施主体		市(委託・補助事業含む)				事業区分		臨時事業	
事業予算費目	款		4 衛生費		項		1 保健衛生費		
	目		4 葬斎場費		事業		5 葬斎場建設事業		
開始年度		平成 25 年度		根拠法令・要綱等		墓地・埋葬等に関する法律			

■事務事業の概要（実施内容）

事業の対象	(誰の、何のために事業を実施するのか) 小松島市葬斎場を現在の隣接地に建替える。
事業の目的 (意図)	(事業実施によってどういう状態にしたいのか) 平成29年度の供用開始に向け、基本設計等を決定する。
事業の内容 (内容・手法等)	(どういった仕事の内容で、どのような手法・手順で実施しているか) プロポーザル方式により優先交渉権者（設計業務等を行う事業者及び火葬炉整備業務等を行う事業者）を選定し、基本設計業務等を行う。
事業の背景 (経緯等)	(事業開始の背景やこれまでの経緯) 外部委員を含む事業者選定会議を開催し、透明性の高い選定方法で優先交渉権者を決定し設計等の業務を行う。

■事務事業の業績・推移（目標・実績）

成果指標	指標名		指標の説明					指標化できない成果
	単位		H25	H26	H27	H28	将来目標 (年度：平成)	事業の進捗率
	目標							
実績								
達成度								

活動実績・参考となる指標	指標名	単位		H25	H26	H27	H28	指標の説明
	葬斎場建設事業に係る事業者選定会議日数	日	計画	2	1	0	0	仕様書・募集要項・評価基準等の決定、プロポーザル
火葬炉選定等に係る事業者選定会議日数	日	計画	0	3	0	0	仕様書・募集要項・評価基準等の決定、プロポーザル	
葬斎場運営に係る事業者選定会議日数	日	計画	0	0	1	3	運営方法の検討等	
		実績	0	0				

■事務事業に係るコストの業績（目標・実績）

(単位：円)

		25年度決算		26年度決算		27年度決算		26年度予算		
全体コスト(円)	関連事業費	A	直接事業費	49,000	9,175,860	0	34,481,000			
		財源内訳	財源	国県支出金						
			地方債							
			利用者負担							
			一般財源	49,000	9,175,860					
		B	人件費 ①×②	1,639,619	1,579,708	0				
		職員平均人件費①	8,198,097	7,898,541						
従事した割合②/人	0.20	0.20								
A + B		1,688,619	10,755,568	0						
単位コスト	活動指標の説明		選定会議日数 2日	選定会議日数 4日			備考			
	活動指標1単位当たりコスト		844,309	2,688,892			平成25年4月1日現在 人口40,733人			
	市民一人あたりのコスト		41	267			平成26年4月1日現在 人口40,333人			

■事業を取り巻く環境

国・県・他団体の動向や環境変化と今後の予測	(社会状況、法改正、規制緩和、周辺の状況等や今後の予測) 本市の葬斎場においては、火葬炉の老朽化を踏まえ早急な建替えが必要となっている。近年では、徳島市が葬斎場の大規模改修を行っている。
事業に対する住民の意見	(意識調査・議会質疑等、事業に対する期待・要望・苦情など) 老朽化した葬斎場で生涯を終えることは、あまりにも寂しいことであり早急な建替えを望む声がある。

■項目別評価・今後の課題

評価項目	評価結果 (該当にチェック)	判断理由・評価コメント (具体的に記入すること)
必要性 (市民ニーズ)	<input type="radio"/> ① 必要性が高い	施設設備の老朽化に伴い火葬に時間がかかること、今後の火葬件数の増加が見込まれることなどから、早急に改修する必要がある。
	<input type="checkbox"/> ② どちらかといえば必要性がある	
	<input type="checkbox"/> ③ 必要性が低い	
	<input type="checkbox"/> ④ 必要性がない	
妥当性 (市で行わなければならないか)	<input type="radio"/> ① 市が行わないといけない	設計等についての事業者との協議は、当然に市が実施するものである。
	<input type="checkbox"/> ② どちらかといえば市で実施	
	<input type="checkbox"/> ③ 必然性が低い	
	<input type="checkbox"/> ④ 必然性がない	
効率性 (事業の手法は効率よいが、コスト削減の余地はないか)	<input type="checkbox"/> ① 効率的である	プロポーザル方式の中で、価格も含めた提案をさせている。
	<input type="radio"/> ② どちらかといえば効率的	
	<input type="checkbox"/> ③ どちらかといえば非効率的	
	<input type="checkbox"/> ④ 非効率的	
緊急性 (他事業に優先し、実施する必要があるか)	<input type="radio"/> ① 緊急性が高い	老朽化の進んだ施設であり、市民からの強い要望もあることから、早期の建て替えが必要である。
	<input type="checkbox"/> ② 比較的緊急性がある	
	<input type="checkbox"/> ③ 緊急性が低い	
	<input type="checkbox"/> ④ 緊急性はない	
成果 (目的の達成状況)	<input type="checkbox"/> ① 成果が上がっている	設計等を行う事業者及び火葬炉整備等を行う事業者が決定し、基本設計も完成した。
	<input type="radio"/> ② どちらかといえば上がっている	
	<input type="checkbox"/> ③ どちらかといえば上がっていない	
	<input type="checkbox"/> ④ 成果は上がっていない	
今後の課題	実施設計、都市計画決定、河川協議、地元協議、用地関係手続きなど、平成29年度の供用開始に向け、事務を遂行する。	

■一次評価 (評価点は目安とし、総合的な評価をすること)

評価	5	1 拡 充 す る	80 点 以上	評価点による判定 評価点 86 1	判断に至った理由 設計等を行う事業者及び火葬炉整備を行う事業者が決定し、基本設計が完了しており、平成29年度の供用開始に向け、事業を進めていく。
		2 現状のまま継続する	60 ~ 79 点		
		3 改善・効率化し継続	50 ~ 59 点		
		4 見直しの上縮小する	40 ~ 49 点		
		5 終期設定し終了	30 ~ 39 点		
		6 休 止	20 ~ 29 点		
		7 廃 止	19 点 以下		

■改善・効率化・見直しの方向性 ※一次評価の判定が3・4の時は、必ず記入すること。

(具体的な改善等取組内容 (方向性・対象・手段等について記述))

■二次評価 (所管担当の一次評価を、総合評価し判定すること)

評価	5	1 拡 充 す る	判断説明 葬斎場の建替えについては、老朽化の進んだ建築物であること、市民からの強い要望もあること等を考慮し、平成29年度の供用開始に向け事務を進める。
		2 現状のまま継続する	
		3 改善・効率化し継続	
		4 見直しの上縮小する	
		5 終期設定し終了	
		6 休 止	
		7 廃 止	